

「国際スポーツ大会を契機としたスポーツ振興・地域活性化の取組み」 (H27. 10～)

【幹事】 福岡県 人づくり・県民生活部 スポーツ振興課

【参加県】 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、山口県

目的

今後、国際スポーツ大会の開催を契機として、多くの観光客が九州を訪れるよう、九州の観光や物産の魅力を国内外に発信するとともに、ボランティアをはじめとする受入環境の整備に向けた取組みも必要であるため、九州一体となったスポーツ振興及び地域活性化に取り組む。

取組内容・成果

取組方針

- ・ラグビーワールドカップ成功に向けた九州一体による取組
- ・九州一体となったアスリート育成・キャンプ地誘致の取組
- ・国際スポーツ大会を契機とする観光・物産の九州一体での魅力発信
- ・外国人観光客受け入れ環境の九州一体での整備
- ・九州一体となった文化プログラムに基づくイベント開催

期待される効果

- ・国際スポーツ大会のキャンプ地誘致の実現
- ・ラグビーワールドカップ2019大会の成功
- ・九州・山口周遊観光客の増加

九州が一体となった取組み(～平成29年度)

(1)ラグビーワールドカップ成功に向けた九州一体による取組

○ラグビーワールドカップ2019九州開催3県知事・市長会議

○ラグビー試合会場での合同PRブースの出展

(開催場所:福岡10回、佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島・山口・広島各1回)

※平成29年度までの述べ数

○PRツールの共同制作(パンフレット、手提げ袋)

(2)九州一体となったアスリート育成・キャンプ地誘致の取組

○九州各県におけるアスリート発掘・育成の取組推進

○中央競技団体との協働によるアスリートの発掘・育成プログラム

○九州一体となったキャンプ地誘致活動の実施

(視察受入4件、締結式1件)※平成29年度までの述べ数

(3)国際スポーツ大会を契機とする観光・物産の九州一体での魅力発信／外国人観光客受入環境の九州一体での整備／九州一体となった文化プログラムに基づくイベント開催

○九州地域戦略会議九州観光戦略委員会や九州・沖縄文化力推進会議との連携・情報共有



今後の課題・取組

- 九州で試合を行う国に対して、九州全県で連携し、効果的に観戦客誘致に取り組むことが必要。
- 九州一体となったアスリートの発掘・育成の取組みを促進するとともに、国際スポーツ大会のキャンプ地誘致についても、九州各県での情報共有や連携による効果的な取組みを検討する。